

# 振動パターン学習機能付き

## コスモネット、来年投入

ショット  
カウンター

D」では、端子のアプリケーター圧着回数や、ワイヤハーネ

スなど小型の金型の管理にのみ対応していた。新製品は学習機能の追加により、あらゆる金型のショット数カウントに対応可能になる。電池寿命は従来比2倍の10年を目指す。また従来品では端末でデータを読み取れる角度が限られていたが、プリズムレンズを使用するなどして読み取り可能な範囲を改善する。これにより無人搬送車（AGV）に端末を設置して無人でデータを収集するなど、管理の自動化も推進する。

コスモネット（東京都大田区、東好明社長、03・5744・6626）は、プレス機に設置しショット数をカウントする「プレスカウンター」で、学習機能を備えた新製品を2021年2月をめぐりに投入する。取り付けるプレス機の振動パターンを覚え込ませることができ、従来の同社カウンターと比較し大きい金型のプレスにも対応できる。初年度に5000台、累計で50万台の販売を目指す。プレス機に装着し、金型や刃型のショット数を振動により検知して数える。カウンターが保有するデータを光通信対応の専用端末で読み取ってパソコンに送るため、ペーパーレスでの記録が可能。収集したデータはソフトウェアで一括管理できる。規定ショット数を設定でき、到達前後には警告を表示する。設置したプレス機の振動の大きさや周波数を学習して幅広い設備の管理を可能にする。従来品のショットカウンター「PSC-07A